

前澤工業(株)



環境事業本部 プラント建設
事業部機電設計部機械設計課

高野 裕麻さん

大学院海洋システム工学修了
入社5年目

環境プラント事業、
ルーフ事業などが主要事
業

前澤工業は、創業以来
80年以上にわたり、上下
水道用機器・水処理装置
の製造・販売をもとに上
下水道分野を中心に水イ
ンフラ整備に携わってい
る。

上下水道施設のシステ
ム・設備について研究開
発から設計、建設、運転
管理までを行う「環境プ
ラント事業」、上下水道
施設や施設間を結ぶ配管
で止水や流量調整など
の役割を果たすバルブ・
ゲートを開発から設計、
製造まで一貫体制で行う
「バルブ事業」を主要事
業として、人々の安心・
安全な暮らしを支えてい
る。

高野さんは大学・大学
院で海洋工学を専攻し、
モノづくり、特に設計の
楽しさを実感したことで
設計に携わることができ
る会社への就職を志望
し、前澤工業に入社した。

「社会になんてはならな
い上下水道を支えるとい
う意義、そして、必要不
可欠なものを取り扱って
いるという事業の安定性
が決め手です」と語った。

下水道施設の機械設 備を担当

高野さんは入社以来、
上下水道施設に据え付け
る機械設備の詳細設計を
行う機械設計課に所属し
ている。主に下水道施設
の機械設備を担当してい
る高野さんは「お客様に
提出する図面と、工場で
機械を作るための製作仕

様書を作成しています」と
と業務内容を説明すると
ともに、「自分が設計し
た機械が据え付けられて
いるところ、そして稼働
しているところを見ると

安心・安全な暮らしを支える 設計者としての能力向上を

達成感がありますし、その
機械が人々の生活を陰
ながら支えていると思う
と、なおさら感慨深いも
のがあります」と仕事の
魅力を紹介してくれた。

資格取得、英語の勉強 にもチャレンジ

高野さんは続けて、
「工場が作りやすく、現
場で据え付けやすく、そ
してお客様が使いやすい
製品の図面を目指して
日々業務に臨んでいます
が、まだまだ課題は多く、
設計という仕事の難しさ
を痛感することが多々あ
ります。現在よりもっと
と周りの人からの信頼を
得られるよう、設計者と
しての能力をさらに磨い
ていきたい」と今後の意
気込みを語る。

自身の成長に向けて
呼び掛けた。
最後は高野さんは「学
生の皆さんは、自分が何
をしたいのかをじっくり
と考えたうえで企業を探
っていたらればと思います。
モノづくりに携わ
りたいと思う人にとっ
て、前澤工業は良い会社
だと思います。ぜひ私た
ちと一緒に水インフラを
支えていきましよう」と



お客様が使いやすい製品を目指して